

小石・赤崎

小石・赤崎校区まちづくり協議会

発行責任者
会長 鈴木 勝

編集責任者
総務・広報部会 加藤かおり
北九州市若松区西小石町8-2
Tel 093-751-1900

【ご報告】

令和3年度の総会も新型コロナウイルス感染拡大防止のため 書面決議にて行われ 会員数65名のうち過半数の賛成をもって承認されました。

令和3年度

まちづくり協議会役員紹介

(順不同・敬称略)

～よろしくお願ひします～

会長	鈴木 勝
副会長	佐藤 敦男
〃	豊田 敏子
会計	吉田 正彦
会計	鹿瀬島 昌弘
監事	永田 彰
監事	久原 賢一

総務・広報部会長	加藤 かおり
〃 副部会長	藤武 隆文
防犯・防災部会長	山田 豪
〃 副部会長	佐藤 敦男 (兼任)
保健福祉部会長	豊田 敏子 (兼任)
〃 副部会長	渡邊 由美香
環境美化部会長	岡村 康生
〃 副部会長	堀尾 勝宏
生涯学習部会長	大杉 敦彦
〃 副部会長	福永 俊吉 (兼任)
〃 副部会長	柿内 よし子
健康づくり部会長	豊田 精二
〃 副部会長	重住 進
事務局 長	福永 俊吉
事務局	大池 信春
センター館長	山本 章子

令和三年度を迎え今思う事

小石・赤崎まちづくり協議会 会長 鈴木 勝

コロナ禍の緊急事態宣言の中、活動自粛という、手足を縛られた状態で会長となり、右往左往しながらの一年でした。まち協全体としての活動はできませんでしたが、地域の高齢者の困りごとの相談を数件受け、少しは手助けできたかなと思っっています。その中で高台の高齢者が、買い物に困難を感じていることを知り、交通局に相談して、小型の買い物バス路線を検討してもらい、とりあえず今年八月下旬に、本村・宮前・迫田の高台を通る路線を週二回程度開通することの決定をしていただきました。ご利用よろしくお願ひいたします。

よろしかつたら目を通していただけたらと思います。(裏面に特集あります。)

会長二年目を再びの緊急事態宣言の中で迎え、政治の無策の中ワクチン頼みだけでは安心の日はまだまだの気がしてなりません。感染症の不安だけでなく、バブル崩壊以来、少しずつ進んできた、政治の劣化、経済の沈下に拍車がかかる気がしてなりません。それに伴い倫理の低下や犯罪、特に特殊詐欺の増加が心配されます。地域に於いても、ゴミの放置やポイ捨てなどの苦情を耳にします。それぞれがそれぞれの立場で、高齢者、子どもたち、また環境への目配り、気配りをもって、安心・安全なそして清潔な地域を維持したいと思っっています。よろしくお願ひいたします。

令和三年五月

～市民太陽光発電所・市民還元事業～地域で育む「未来の種」事業

ホップ・ステップあかさき未来塾

赤崎市民センター館長 山本章子

現在、少子化や地域コミュニティ意識の希薄化などにより、子ども会活動をはじめ地域における子どもの活動が低迷している地域が増えていいます。そこで生涯学習課より地域で育もう「未来の種」事業の募集があり、実施するセンターとして赤崎市民センターが選定されました。地域づくりの未来の担い手である子どもたちの健全な発達・育成に向けて、市民センターが中心となり、まちづくり協議会・子育て支援団体・企業などと協働で、世代間交流や体験活動を実施します。小石・赤崎校区は文化遺産の宝庫であり、小石ちょうちん山笠など伝統行事がある歴史の重みのある地域です。そのような伝承文化を継承する地域の皆様にご協力いただき、子どもたちに地域の魅力を伝えていただきたいと思います。コロナウイルス感染予防対策マニュアルなどに基づいた対策を十分配慮したうえで講座を開催していきます。重ねて地域の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

見に来ませんか？

センター道路側の「あかさきファーム」にて、5月1日、ホップの植え付けが行われました。収穫は8月ごろの予定です。

～～あかさき未来塾～～

が始まります→→

楽しみですね！

6月26日(土) まちかど探検1

「ビオトープへ行こう」

8月18日(水) まちかど探検2

「若松消防署見学」など

詳しくはセンターホームページで

北九州市主催令和2年度 地域の「ちから」報告会 。。。にて、
小石赤崎まちづくり協議会の鈴木会長が発表しました！！
～コロナ禍における地域コミュニティの「ちから」～

全部版 YouTube リンク→ <https://youtu.be/MD-RsM-znn0>
小石・赤崎抜粋版リンク→ <https://youtu.be/Wxp8J-lbEx4>
YouTube の検索窓に 「地域のちから」と入力すると→「令和2年度
地域の「ちから」報告会」が出てきます。こんな感じ→
また、全部版 DVD が赤崎市民センターにありますよ～



【西松区小石・赤崎校区まちづくり協議会】三世代で育てよう 安心・安全で住みよいまち～学校と連携した地域活動～（令和2年度地域の「ちから」報告会）

～以下は、抜粋です～

同じ区域に 4 つの学校（赤崎小学校、小石小学校、向洋中学校、若松高等学校）のある 当協議会は東中 14 区、西 14 区と二つの自治会を中心として 各学校と協力し [三世代で育てよう、安心安全で住みよいまちを] との思いで様々な行事を通じてともに地域を盛り上げようと頑張っています。特に 小・中学校とは連絡を密にしてパトロール活動、見守り活動、子どもたちの健全育成に力を入れております。しかしながら、コロナ禍の折、多くの行事が中止せざるをえなくなり 今後の活動の縮小を危惧しています。

そのような中 感染対策を考えながら実施した今年の活動を紹介します。



5月小石小学校前の花壇の花植え

自治会役員のみで予定していたところ 小石小学校の一年生もぜひ参加したいと申し出があり人数を絞り、時間を短縮するなどの工夫をして実施。自分たちの学校の周りを花できれいにすることで環境の大切さを感じてもらえればと思います。



公民館の役割と仕事、小石ちょうちん山笠についての出前授業

小石、赤崎 両小学校の2年生を対象。公民館の大会議室、赤崎小学校と分散して実施。ウェルクラブ活動 今年、両小学校の3,4年生に地域の高齢者宅への 励ましのハガキを書いてもらい高齢者からも喜びの声が聞こえてきました。



赤崎小学校の手作りの山笠 お祭りクラブの児童からせっかく小石ちょうちんの山笠を作ったので披露したいと、招待があり自治会役員、山笠保存会役員で鐘・太鼓・のぼりを持って、体育館に駆けつけました。

小石小学校でお囃子の稽古 11月になって3回ほど 小石ちょうちん山笠の鐘太鼓の指導に行きました。その成果を小石スポーツフェスタで、披露してくれました。たいへんありがたいことです。



公民館にてしめ縄作り、ミニ門松づくり 12月、自治会育成部として行いました。今年、参加者を制限して3班に分けて行いました。感染対策の中では従来どおりの大規模な活動はできませんが、何よりも子どもたちの喜ぶ顔を見るのが私たちの力になります。令和3年も 従来通りの活動はできないと予想されますが、私たち小石赤崎まちづくり協議会の目標でもあります、安心・安全なまちづくり・住みよいまちづくり・絆づくりのため各自治体、各学校、他すべての団体との信頼関係をさらに強固なものとし連携を図って新しい

活動の在り方を今後も模索していこうと考えます。

地域の皆さんが小石・赤崎に住んで本当に良かったと思えるようなまちづくりができればと考えております。

★★編集後記★★

緊急事態宣言って、何？。。マスクがない！

と大騒ぎした去年の4月…その言葉も マスク生活も すっかり？私たちの生活に定着してしまいました。大人も子どもも

- ★ 本当によく我慢をしました。
- ★ ワクチンの接種も始まり、そろそろ永いトンネルから抜け出せるのかな？ ワクチンの接種が普及しても マスク・うがい・手洗い そして いつも笑顔を忘れずに